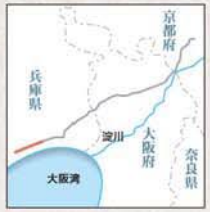
1

街道マップ／兵庫県神戸市

神戸市中央区～神戸市東灘区

●歩行距離／9.7km　●標準歩行時間／2時間25分　※1時間4kmで計算しています

阪急三宮駅を下車し、JR三ノ宮駅前にある西国街道案内看板からスタート。阪急・阪神電車と並行するように歩きます。古くからある社寺や遺跡を確かめながら歩くのも楽しいでしょう。また、この付近には地元の方々によって建てられた案内板や道標があり、街道歩きの目安となります。



敏馬神社 みぬめじんじゃ

その昔「敏馬の崎」と呼ばれた高台にあった神社。かつては、この神社の東側に白砂青松の敏馬の海が広がっており、その美しさは万葉集にも度々詠まれました。境内には、柿本人麻呂や田辺福麿の歌碑も建てられており、万葉に縁のある神社としても知られています。

澤之井

阪神電車御影駅そばの高架下にある井戸。神功（じんぐう）皇后が朝鮮出兵の帰りに化粧のために姿を映したことから、「御影」の地名がついたとされています。昭和60年（1985）には、阪神御影駅北側広場の整備にあたって碑が建てられるなど、今なお地域の人々に親しまれています。

本住吉神社 もとすみよしじんじゃ

表筒男（うわつつお）命、中筒男（なかつつお）命、底筒男（そこつつお）命、神功皇后などを祭神としています。諸説ありますが、ここが住吉三神鎮祭の根源であると伝え、そのために古くから「本住吉神社」と呼ばれています。住吉歴史資料館には、住吉村の古地図や古文書が展示されています。

灘五郷

西郷、御影郷、魚崎郷、西宮郷、今津郷から成り、神戸市灘区から西宮市にかけてひろがる酒造地域。古くから優良酒として知られていた灘の酒の名声は、江戸時代に樽廻船で酒を江戸に運ぶようになって、さらに広まりました。現在でも日本屈指の酒どころとして知られています。